

教科等：総合的な学習の時間 第1学年 「アイヌ文化体験学習会」

人権課題：アイヌの人々

人権教育の視点：アイヌの人々の文化に触れることを通して、アイヌ文化の魅力を理解させるとともに、偏見や差別について考えさせることで、それらを解消していくためには自分や社会がどのように変わっていくことが望ましいかを考えようとする態度を育てる。

活動内容：アイヌの人々生活における伝統的な文化を体験し、その魅力について理解することで、アイヌの人々が不当に差別されているという現状についてアイヌの人々の立場に寄り添って考えることができた。その中で、アイヌ文化を実際に体験して理解を深めることが大切であることなどに焦点を当て、差別解消のためにはどうすべきかを各々の言葉で表現することができた。



教科等：総合的な学習の時間 全学年 「性の多様性の理解」

人権課題：「性自認」「性的指向」

人権教育の視点：性の多様性や性の在り方について考える活動を通して、自身の言動について客観的に振り返り気づきを得ることで、多様な性に配慮した言動を心掛けようとする態度を育てる。

活動内容：講演やロールプレイなどを通して、多様な性の在り方について配慮すべき視点を身に付けた上で、これまでの自身の発言や行動について振り返る機会を設けた。それにより、生徒は自分が意図せず多様な性の在り方を否定していたことや様々な人々を傷付けていたかもしれない可能性について考え、以後の言動において適切な配慮をしようとする意識を高めることができた。



教科等：特別活動 全学年 「SENNAN SPECIAL LIVE 2025」

人権教育の視点：シンガーソングライターである大野靖之さんの少年時代の話を聞くことを通して、生命の有限性について理解し、生命の尊さについて深く考え続けようとする態度を育てる。

活動内容：特別活動として、全学年を対象に「生命の尊さ」をテーマにした講演会を行った。道徳の教科書に掲載されている、大野さんの作品を事前学習し、大野靖之さんが少年時代に母親を亡くされた経験について話を聞くことを通して、いつ失われるか分からない生命の尊さ、特にその有限性について考えを深めることができた。



教科等：特別活動 全学年 「オリンピック講演会」

人権教育の視点：自己の生き方についての考えを深める活動を通して、自己実現を図ろうとする態度を育てる。

活動内容：アテネ五輪競泳バタフライ代表の高橋友喜子さんをお招きして、「挫折があるから希望がある」をテーマに講演を行った。「事故にあり、その瞬間は苦しい思いでいっぱいだったが、そこから見えてきたこと・考えたことがたくさんあり、今の自分を作り上げる機会になった」という講演を通して、好きなことを続けることの大切さと難しさ、それを乗り越えた先にある希望について改めて実感し、自己の生き方について深く考えることができた。

